

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 20 年 3 月 25 日 (火) 第 2403 回 (本年度第 35 回) 例会

●創立 昭和34年 6 月 9 日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (4/1)

ゲストスピーチ

鶴岡青年会議所理事長 恩 田 健 次 氏

3 月 25 日 (第 2402 回) 例会報告

点 鐘

ロータリーソング「我らの生業」

卓 話: 会員スピーチ「これからの RC」について

バストガバナー 藤 川 享 胤 君

ビジター: 菅原 登君 (鶴岡西 RC)

会長報告

暑さ寒さも彼岸までといいますが、日中は大分暖かくなり、会長として、今週から交換学生ガブリエルさんのご両親の来鶴や 50 周年記念事業に関する会議などで忙しくなってくる気配であります。

◆会長ショートスピーチ

ところで今回は胃がんの治療に関してのお話をしてみたいと思います。胃がんの治療と言いますと手術が基本ですが、その方法も私の駆け出しのころのもの隔世の感があります。

胃の粘膜の小さな胃がんは胃内視鏡で一部の粘膜をがんと一緒に切り取ってしまう方法が普及しておりますし、お腹に小さな穴を数か所開けて、ここから挿入した内視鏡による画像を頼りに、侵された胃の部分を取り除くなどという方法もあることは良く知られています。

しかし、ある程度進行した胃がんの治療は、お腹を開けて胃を切除する方法が基本となります。この開腹による胃手術も最近では手術機械の進歩や手術期の栄養管理や輸液管理、麻酔などの進歩に支えられ、より安全な手術が行われるようになっております。

ところで治療方法が進歩し整備されても依然として胃がんで亡くなる方は多いことも事実です。我が国の死因の中では、主にがんを含む悪性新生物とい

次回の卓話 (4/8)

会員スピーチ

バスト会長 塚 原 初 男 君

われる病気が最も多く、その中でも胃がんは全国で男性では肺がんに次いで第 2 位ですが、女性では第 1 位を占めています。この胃がんによる死亡の数は 10 万人当たりの比較ではアメリカの 10 倍ぐらいにあたり、世界でトップの地位にあります。

しかし胃がんによる死亡例は、この 10 数年で半減しております。これは胃がんの検査法が進歩し、一般に普及したことにより、早い段階で適切な治療が受けられるようになったため、胃がんで死亡された方の数が減ったことによるとされています。完全な治療ができる段階で胃がんを発見するためには、各市町村の行っている集団検診が大きな役割を演じてくれるはずですが、全国的にはこの受診率はいまだ 20% に達しない所が多いようです。

ところで、わが山形県の胃がん検診の受診率は 40% 前後とわが国でもトップクラスにあります。しかし一方においてわが県の胃がんの患者さんの死亡率は全国でもお隣の新潟県や秋田県と並んでトップクラスにあります。おそらくは胃がんとわかった段階でかなり進んでしまった胃がんが多いためではないかと思えます。治療法や検査法が発達し適切な段階で医療を受けられれば 100% 近い治癒が得られる世の中になったのですから、治療の第一歩ともいべき検査をできるだけ多くの方が受けてくださる事をいつも願っております。

幹事報告

1. 地区協議会のご案内

日時: 4/19 (土)

場所: 東北芸術工科大学 締切: 4/4

2. 「米山学友の消息を尋ねる運動」提出のお願い

会 長 真 島 吉 也
副会長 富 樫 松 夫
幹 事 本 間 昭 吉

会報委員会
事務局

青柳孝治 佐々木喆彦
鶴岡市馬場町11-63 産業会館 3 階
TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3376

